

「HERT(Honda Endurance Racing Team)」誕生から50年

「ホンダ RCB1000」-初開催「鈴鹿8耐」への征戦 新名神・鈴鹿 PA で展示

8月1日（金）～3日（日）に鈴鹿サーキットで開催される「FIM 世界耐久選手権 “コカ・コーラ” 鈴鹿8時間耐久ロードレース」。本市における夏の風物詩として“鈴鹿8耐”の愛称で親しまれるレースの起源は1978年にまで遡ります。

その「鈴鹿8耐」の記念すべき第1回大会（1978年）に向けて、ヨーロッパ耐久レース選手権の不沈艦隊と称された「HERT(Honda Endurance Racing Team)」が、本場ヨーロッパから日本へ送り込んだのが、“ホンダ「RCB1000」”でした。

排気ガス規制や石油危機の影響を受けて、国際色あふれる「グランプリ」が長く日本から遠ざかっていた1970年代において、あまりの強さから「不沈艦」の異名で知られることとなった同車の日本初上陸。そして、それを打ち破ることとなる国内最強のエンジンチューナーだった「ヨシムラ」。メーカー直系チームの技術力とプライベートチームの情熱が交錯するバトルは、お祭り感溢れる花火の演出などとも相俟って、真夏の祭典として若者の心を惹き付け、国内を代表するレースイベントへと「鈴鹿8耐」を押し上げていきます。

1980年代から90年代初頭にかけての国内におけるオートバイ人気も後押し、最盛期には、本市の人口を上回る観客動員数を記録した「鈴鹿8耐」における成功は、1987年からはじまる「ロードレース世界選手権（現：MotoGP）」や「F1世界選手権」など、最高峰の世界選手権レース開催の足がかりになったといっても過言ではなく、現在における「SUZUKA」の世界的名声にもつながっています。

「HERT」の誕生から50年を迎える今年、「鈴鹿8耐」初開催に向けて「HERT」が開発し、現在はホンダコレクションホールに所蔵されている貴重な1台“ホンダ「RCB1000」”を展示し、「鈴鹿8耐」の開催機運を醸成します。また、企画を通して「モータースポーツのまち・鈴鹿」の発展ルーツに迫ることで、シビックプライドを醸成し、世界に誇る「SUZUKA」を市内外に広く発信する機会にします。

●展示内容

・ホンダ RCB1000

●展示場所 三重県鈴鹿市山本町

（新名神高速道路鈴鹿PA「PIT SUZUKA」地域資源PRコーナー内）

●展示期間（予定）令和7年7月10日（木）から10月22日（水）まで

※展示初日は14:30に搬入を予定しています。

※展示期間中であっても、車両を入れ替える可能性があります。

●主催：鈴鹿市

協力：ホンダコレクションホール

NP0 法人鈴鹿モータースポーツ友の会

【1978 ホンダ RCB1000 (開発コード 482)】

1967 年をもって世界 GP から撤退し、メーカー直結のワークス体制でのレース参戦を休止していたホンダが再び国際舞台に打って出たのが、「ヨーロッパ耐久選手権」へのチャレンジ。1976 年のことでした。

勝利を至上命題に結成されたワークスチーム「HERT」(後述)によって製作されたマシンは、当時のホンダのフラッグシップ「CB750Four」をベースに排気量アップや DOHC 化などで、エンジンの高性能化を実現。それを優秀なフレームと足回りで支え、最強マシン「RCB1000」としてデビューさせました。その名には“Racing CB”の意が込められています。

RCB は緒戦から優勝するなど快進撃を続け、3 年間で参戦した 26 戦中実に 24 勝(勝てなかった内の 1 戦が 1978 年の第 1 回鈴鹿 8 耐)という圧倒的な強さを誇りました。加えてその投入台数の多さとあいまって「不沈艦隊」の異名をほしいままにし、3 年連続でチャンピオンを獲得しました。

今回の展示車両は、その参戦最終年度である 1978 年を戦った、コードネーム「482」と呼ばれる個体で、RCB の完成形とも言える 1 台です。

【HERT (Honda Endurance Racing Team)】

1975 年秋、ホンダはほぼ 10 年ぶりのワークス体制でのヨーロッパ耐久選手権への参戦を決断、本田技研工業本社の意向を受けて、本田技術研究所(朝霞)内に「Honda Endurance Racing Team」(HERT)が急きょ結成されました。

その背景には、当時のヨーロッパにおける 2 輪市場でのホンダの苦戦がありました。市販車をベースにしたマシンで争われる同選手権は、その成績が市場に直結する存在であり、そこで勝利することは大きな価値がありました。

しかし、1976 年 4 月の開幕戦までわずか半年。チームは、海外法人「ホンダ・フランス」と連携のもと急ピッチでマシンを開発。

見事に RCB のデビューウインにこぎつけます。その後はフランスに拠点をおき、3 年間にわたる快進撃を続けることとなります。

■この取組に関するお問い合わせは—

鈴鹿市産業振興部 商業観光政策課 TEL 059-382-9020 山本・後藤

■展示車両・チームに関するお問い合わせは—

NP0 法人鈴鹿モータースポーツ友の会 TEL 080-4537-2005 中野

【事務担当】 鈴鹿市産業振興部 商業観光政策課
山本・後藤
電話 059-382-9020 (直通)